

十二通り流の舞い方

十二通り流が完成したのは大正11年ですが、本来、皇子権現・吉田八幡宮の氏神より伝わる獅子舞いをベースにしたものです。

大正5年に高松市で開催された新日本博覧会に出演し、郷土芸能最優秀とされ、以後陸軍第十一師団の招魂祭に奉納されてきたものがルーツです。その後、現在は数種類の舞い方にアレンジされています。

- ① 四方鎖め 四方四隅を鎖め清める
- ② 場取り 行動範囲を定める
- ③ め懸け 縄張りの主張と確保する
- ④ 歯噛み 獲物を発見し喜ぶ
- ⑤ 身迫り 獲物を得てご馳走を前にする
- ⑥ 月見 月を眺め、月に向かって雄叫びする
- ⑦ 大舞 遠巻にして獲物に噛みつく
- ⑧ 小舞 獲物を巻き込み口にする
- ⑨ 洞入り ご馳走を食べ終わる、住み処の洞穴へ帰る
- ⑩ 腹這い 満腹で寝付く前の様子
- ⑪ 四隅み 目が覚めて勇猛な様子
- ⑫ 参切り 四方に飛び回り、最高の祓い舞いをする

【参考】『香川県の民俗芸能』
瀬戸内海歴史民俗資料館編 1998



昭和47年、弘法大師生誕1200年祭にあわせて市内で開催された香川県郷土芸能祭を契機に、善通寺獅子舞保存会を結成しました。現在、38団体の獅子組が加入しています。

獅子舞大会 11月3日(祝) 11:30~12:00
善通寺伽藍にて
問い合わせ 善通寺市文化協会 獅子舞保存会
(生涯学習課内) ☎ 63-6328

秋に集う 善通寺の獅子たち



お顔から「ゆたん」の色模様まで、いろいろな表情を見せるふるさと善通寺の獅子たち。独演だったり、そろって連舞したりと、舞い方もさまざま。いろいろ見比べてみると、なじみのカシラにも意外な特徴が発見できるかもしれませんね。

舞台
展示
その他

第29回 善通寺市民文化祭 プログラム

生涯学習課 ☎ 63-6328

	市 民 会 館			市美術館	善 通 寺	鉢伏公園 茶 室	筆岡小学校
	ホール	1階 ロビー	1階 集会室		伽 藍		
11月							
1日(木)				美術展 10/26~11/4 10:00~18:00	誕生院 10/25~11/13 9:00~17:00		
2日(金)							
3日(祝)		生花展 11/3~11/4 9:00~17:00 4日は15:00まで			*獅子舞大会 11/3 11:30~12:00 *子泣き相撲 12:00~13:00 *郷土芸能・ 芸能まつり他 13:00~15:55	茶 会 11/3 10:00~15:00	
4日(日)	吟詠剣詩舞大会 11/4 12:00~17:00		囲碁大会 11/4 10:00~17:00		時間が変更になりました		
~							
11日(日)	カラオケ大会 11/11 14:00~17:00	シルバー会員 手作り品展示 11/11 9:00~15:00					
13日(火)							
17日(土)							シカシカ踊り 11/17 19:00~20:00 *空海まつり

毎年、彼岸花が咲くころになると、どこからともなく鐘や太鼓の音が聞こえてきます。獅子頭をいただいて舞う「獅子舞」。平安時代に遣唐使により舞臺として伝わったのが始まりのようです。獅子は悪霊を鎮める力を持つ霊獣とされ、のちに五穀豊稔の祈禱や悪霊払いを目的に、祭礼などで舞われるようになりました。

善通寺の獅子舞

善通寺市周辺でも獅子舞の歴史は古く、延喜式内社である大徳神社には、室町初期の獅子頭が残されているようです。ただ、当時の獅子舞は、二人立ちの大道の獅子か、一人立ちで伴奏に合わせて舞ったもので、現在伝わっている獅子舞とは趣が少し異なっていたようです。

香川県では、いかり獅子、牡丹くずし、三竜流、夫婦獅子などの舞い方が一般的ですが、善通寺周辺では独特の十二通り獅子舞が伝わっています。

大正11年、香川県の陸軍大演習に伴って摂政宮（のちの昭和天皇）が偕行社に滞在された際、旧善通寺町の獅子舞が勢揃いして披露しました。その際、すべての獅子舞を12通りに統一したことにちなんでいます。

子どものころから馴染んだ音色は、年を重ねても懐かしいもの。はるか昔の人々が親しんだ拍子を、これから生まれてくる人々につなぐことができるのは、今生きている私たちだけなのです。